

# パオちゃん's EYE

2023年8月1日 発行 No.77

## 当館秘蔵のお宝を見に来てね

倉敷市立自然史博物館は今年の11月に開館40周年を迎えます。博物館の役割のひとつは、資料収集保管事業で、標本や資料を集めて、整理し、利用しながら、次の時代へ引き継いでいくことです。当館が開館以来収集した標本・資料は100万点を超えています。当館が収蔵している100万点を超える標本や資料の9割以上は個人や団体などから寄贈されたもので、博物館は市民の皆さんの協力によって支えられていることがわかります。博物館のお宝は人類共有のお宝でもあります。

現在、それらの中から特に貴重なお宝を選びすぐって、第32回特別展「倉敷市立自然史博物館秘蔵お宝展」として公開しています。

江田伸司(動物担当)



瀬戸内海産唯一の標本オオシャミセンガイ

畠田和一貝類コレクションは畠田和一（1897～1965）没後45年を経て所在が明らかとなった。オオシャミセンガイ（腕足類）は、有明海が産地として有名であるが、瀬戸内海では明治時代に東京帝国大学教授エドワード・モースが兵庫県明石市で採集して以来確かな記録はなかったが、畠田が1930～1965年に岡山市で採集した標本が確認され、これが岡山県のみならず瀬戸内海唯一の標本である。岡山県：絶滅、環境省：絶滅危惧Ⅰ類

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

### 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには

いろんな情報がいっぱい♪

「倉敷市立自然史博物館」で

検索してみよう！ パオより

